

講義名	情報通信産業論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	福井 誠		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 1時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	41065

主題と概要

情報産業と通信産業は現在では融合し、広い裾野を持つ基幹産業になりました。この数年の変化を見ても、テレビ放送がデジタルに完全移行したり、クラウドが広く普及したりとめまぐるしく変化している産業です。このような変化は今後も継続しさらに大きく姿を変えようと思われまます。

この講義では、このような時代の転換点にある情報通信産業を、消費者向けインターネットサービスを中心に解説します。

インターネットサービス事業者の戦略を理解する中で、通信インフラ、システム開発、周辺サービス提供企業、コンテンツ産業など多様な産業者間との関係について理解を深めます。

これらの講義内容を通して、情報通信産業がわれわれの生活にどのように関わっているのかを理解するとともに、ネットとリアル、放送と通信、通信とWebなど様々な領域が融合し姿を変えていくさまを理解し、これからの情報通信産業が向かうであろう方向を探っていききたいと思います。

到達目標

産業の概念が理解できる。その中で情報通信産業の位置づけと変遷を理解し、将来の姿を描くことができる。情報通信産業に属する産業の構造を理解し、その事業モデルを理解できる。それらの産業の可能性だけでなく、限界や危険性も理解できる。

提出課題

評価の基準

期末試験は実施せず、講義中に5回程度レポートを実施し、これにより評価する。

履修にあたっての注意・助言他

私語は厳禁です。ただし講義中に発言を求めることがありますので、積極的に講義に参加することを望みます。

教科書

.使用しない。.

プリント資料及び参考文献

その都度配布、指示します。

授業計画

1. 講義の概要
2. 情報通信産業とはなにか-日本標準産業分類の変遷に見る-
3. 情報化社会で仕事や生活が変わるといのは本当か
4. 初期のインターネットビジネスの形 Yahoo!のケース
5. 広告とメディア テクノロジーや行動ターゲティングの是非ー
6. 検索とWeb Googleのケース
7. モバイルキャリアの事業性と競合するサービス (LINE, Instagram,)
8. セキュリティーと暗号 インターネットの安心を支える技術
9. ソーシャルという方向性 FacebookからAirBnB, Uber
10. 電子書籍とamazon.co.jpのケース
11. E-commerceと楽天のケース
12. IT産業の盛衰
13. IT産業の盛衰2
14. IT産業の盛衰3
15. まとめ

予習・復習

講義中に紹介したWebサービスなどは各自が閲覧可能である。講義の後はそれらのサービスを試用するなどして講義の意味に対する理解を深めてほしい。

備考